

# ふじた

地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定  
岡崎医療センター工事進捗報告  
「院内コンサート」開催しました  
Information



F U J I T A H E A L T H U N I V E R S I T Y H O S P I T A L

特集

2019年4月1日付で、当院は、

## 地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定されました。

我が国のがん診療は、「がん対策基本法」「がん対策推進基本計画」によって、全国どこでも質の高いがん医療を受けられる「がん医療の均てん化」のため、全国にがん診療連携拠点病院が整備されてきましたが、これらの拠点病院等の取り組みに格差があること、さらなる医療安全の確保が必要であること等の課題が指摘され、見直しが図られました。

この度、地域がん診療連携拠点病院は、それぞれの病院機能によって「高度型」「一般型」「特例型」に分類され、「高度型」に指定されたのは、全国で当院を含む14施設でした。

「高度型」は、「一般型」の要件に加え、さらに高度ながん医療を提供するために望ましいとされる要件を複数満たした上で、その地域で診療実績がもっとも優れていること、高度な放射線治療が実施可能なこと、がん相談や緩和ケアが充実していること、医療安全に取り組んでいることなどが認められた場合に指定されます。

高度な放射線治療が実施可能なこと、がん相談や緩和ケアが充実していること、医療安全に取り組んでいることなどが認められた場合に指定されます。

今後も低侵襲治療を始めとした極めて高度かつ質の高いがん治療の提供はもとより、がん診療に関わる医師、看護師、薬剤師らが、臓器の特異性を超えた横断的診療を含む幅広いがん医療の体制充実を図ることで、県内唯一の地域がん診療連携拠点病院(高度型)として地域医療に貢献していきたいと考えています。

委員長 杉岡篤



がん診療連携拠点病院運営委員会  
左) 委員長 杉岡篤(総合消化器外科 教授)  
右) 副委員長 河田健司(臨床腫瘍科 教授)



# 岡崎医療センター 工事進捗報告 vol.4

## Status of the progress 2019

今回は、岡崎医療センター各フロアの概要についてご案内いたします。患者さん目線にたった病院づくりをめざし、上下階移動を極力排除すべく、外来部門を1階に集約。その他、見通しの確保や、分かりやすさへの配慮、良好な病室環境を実現する設備、免震構造の採用など、患者さんの利便性や安全性を重視した設計となっています。

### 建物内の階構成

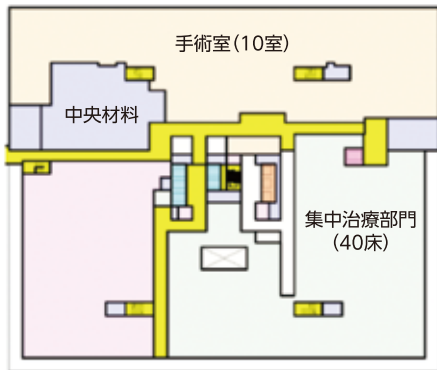
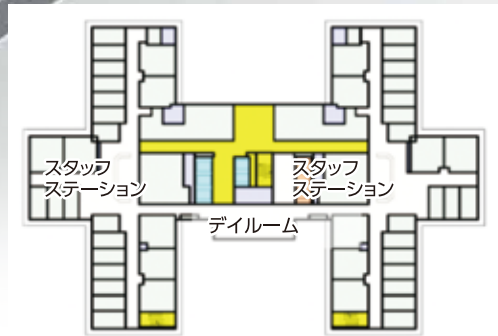


スタッフステーションイメージ

#### 4~7階 病棟

病室  
デイルーム  
スタッフステーション  
カンファレンス 等

スタッフステーションを中心に3方向に延びる病棟形状。端部病室までの視認性の確保と動線の短縮化を両立しました。



#### 3階 手術・集中治療

ICU(集中治療室)  
HCU(高度治療室)  
SCU(脳卒中集中治療室)  
手術室(10室)  
中央材料  
医局・図書

ロボット支援手術システム、ダビンチを導入し、低侵襲の最先端治療を提供します。



手術室のイメージ

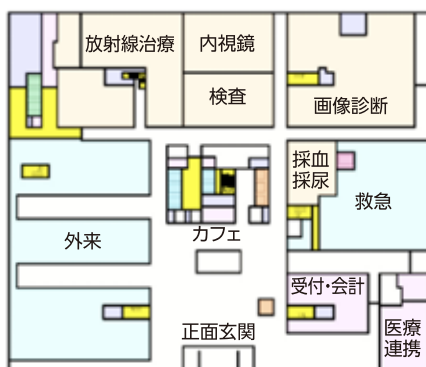
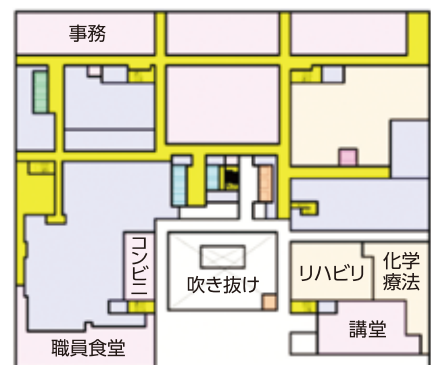


エントランスイメージ

#### 2階 各部門

講堂  
リハビリテーション  
化学療法  
薬剤・検査

エントランスには吹き抜けと光庭を配置し、圧迫の無い解放感に溢れた空間となっています。



#### 1階 外来・検査

受付・会計 外来  
医療連携 救急  
採血・採尿 検査  
画像診断 内視鏡  
放射線治療

救急外来から手術室・集中治療室フロアへの直通EVを設置し、重傷者の緊急手術に迅速な対応が可能。



外来イメージ



## 5月10日(金) B棟1階ホスピタルパサージュにて コンサートを開催しました。

ピアノ奏者 山中和子さんとサクソフォン奏者 林美和さん、お二人のご厚意により、ホスピタルパサージュ内にてコンサートを開催していただきました。演奏曲はヨーヨー・マで有名なリバルタンゴやカルメン、日本の曲メドレーなど聞き覚えのある曲などを交えながら数曲を演奏していただきました。日本の曲のなかで歌謡曲にも使用されているものなどは皆さん口ずさまれ、大変楽しんでいただきました。



### 院内コンサートのお知らせ

ホスピタルパサージュでは定期的の下記コンサートを開催しております。ぜひお越しください。

#### いこいの広場コンサート

**開催** 毎月1回第2土曜 **※次回開催は8月10日(土)予定です。**

学生や地域で活動されている方々に「発表の場の一つ」としてボランティアで出演いただいております。

#### 病院アウトリーチプロジェクト

**開催** 主に偶数月の第4土曜

愛知県立芸術大学と本学との大学間協定にもとづくこのプロジェクトです。芸術大学の学生が病院で闘病生活を送る方たちなどへ良質なアートを届ける活動です。

※開催の詳細な日時は病院HP内、院内コンサートをご覧ください。

4/23

## 世界フライ級チャンピオン田中恒成選手が 慰問に来て下さいました。

田中選手自身も小さいときに1ヶ月程入院していた経験があり、入院している子どもたちに元気を与えることが出来ればということで今回慰問に来ていただけることとなりました。質問コーナーではこどもたちから、「チャンピオンになるためには何が大切ですか?」という質問には『難しい目標で、諦めそうになる事もあるけど自分は出来るんだと強く信じるのが大事なんだよ』と分かりやすい言葉で答えていただき、ほかには「減量の秘けつはなんですか?」には『甘いものが好きなんだけど我慢することかなあ』など笑いを交えながら、様々な質問にやさしく答えていただきました。



## 患者さん向けがんセミナー

藤田医科大学病院外来棟6階  
6-2セミナールーム

6/25(火)

11:00~12:00

筋肉の衰え(サルコペニア)  
を予防する栄養サポート

7/8(月)

11:00~12:00

乳がんの手術  
～最新治療～

詳細については、院内掲示ポスターにてご確認ください

## 市民公開講座のお知らせ

参加無料

### 藤田医科大学・「地域を支える人材育成プラットフォーム」公開講座

日時 7/18(木) 14:00~15:00

場所 藤田医科大学病院外来棟6階6-2セミナールーム

テーマ 高齢者の在宅ケア

自分らしく生きて、人生の最期を自宅で迎えるために必要なことや地域づくりについて、理学療法士、社会福祉士、看護師が現場での実例を交えてお話しします。

講師 藤田医科大学地域包括ケア中核センター 都築 晃、池田 寛、松下 寛代

定員 90名(事前申込不要、当日先着順)



お問合せ先 >>> 藤田医科大学 地域連携教育推進センター TEL:0562-93-9663



## 旬の食材 ホタテ

### 夏バテ予防

食欲が低下しやすい夏は、ご飯やパン、麺類などの糖質中心の食事となり、糖質をエネルギーに変えるビタミンB<sub>1</sub>が不足しやすくなります。これが夏バテの原因となります。ビタミンB<sub>1</sub>を多く含む食品には、豚肉、赤身の魚、大豆製品などがあります。この他にゴマやきな粉にも含まれるので料理に加えるとよいでしょう。

またホタテに含まれるタウリンはアミノ酸に似た物質で、コレステロールを減らす、心臓や肝臓の機能を高めるなどの効果があるとされています。

栄養と休息をしっかり取り、夏を乗り切りましょう。



食養部が提案する!!

### ホタテの冷や汁

材料 【2人分】

- 木綿豆腐.....70g
- ホタテ貝柱.....60g
- きゅうり.....1/2本
- 豆もやし.....20g
- トマト.....1/2個
- 麦味噌.....16g
- 水.....150g
- 酒.....大さじ1

- 塩(塩もみ用).....適量
- すりごま.....5g
- 練りごま.....大さじ2(30g)
- 大葉.....2枚
- みょうが.....1個

おおよその栄養価 (1人分)

エネルギー 195 kcal  
たんぱく質 13.3 g  
塩分 1.2 g

#### 作り方

- ① ホタテ貝柱は一口大に切り、耐熱皿に入れ、酒をかける。ふんわりとラップをかけ電子レンジで加熱。(500w・1分半程度)
- ② 麦味噌は①で出た汁と水でのばし、すりごま、練りごまを加える。
- ③ もやしは茹でる、きゅうりは輪切りにして塩もみする、トマトは皮をむき角切りにする、豆腐は一口大に切る。
- ④ ホタテと③を器に盛り、②をかける。
- ⑤ 大葉とみょうがの千切りをのせる。

※そうめんなどの麺やご飯にかけてもおいしいです。

管理栄養士：馬場 調理師：鈴木